



広報かいせい

2018

5

田舎モダン



開成町

kaisei town

No.578



特集 開成町北部地域活性化

残したい風景

訪れる人を魅了する景色

問 産業振興課 ☎84-0317

町の北部地域には、一面に広がる田園の緑とあじさいの色のコントラスト、豊かな水が流れる水路、趣のある古民家など、訪れる人を魅了する景色がいくつもあります。

また、北部地域は、町のあゆみや人々の営みを伝える大切な歴史資源でもあります。

都心からほど良い距離にあり、利便性の高い都市型の生活のすぐそばに、こうした景色が広がっていることも、町の大切な資源であり、大きな魅力となっています。

地域を守っていくために

一方で、北部地域は、原風景の要である田畑を守る農業の担い手の高齢化・次世代育成といった課題やどのように地域の活力を創出し、持続的発展をめざしていくかといった課題を抱えています。

こうした課題に対し、町では「北部地域活性化推進協議会」を設置し、大切な町の資源であり、財産でもある北部



地域の皆さんと一緒に

北部地域活性化推進協議会
会長 内藤 博人さん（金井島）

何もしなければ、

何も変わらない

開成町北部地域は、都市計画やその他の規則によって、

住宅建設等の開発行為が制限されています。それを不満に思う人もいるのは事実ですが、何もしなければ、状況は何も変わりません。制限がある中で、いかに暮らしやすい地域にできるか、魅力ある地域にできるか。こんな想いで2年間議論を重ねてきました。

協議会では北部地域の活性化策について議論し、国の「地方創生推進交付金」を申請・獲得することができました。この交付金を使い、瀬戸屋敷の改修や今後の整備を進めるほか、協議会傘下のプロジェクト部会では、「菜花」などの景観作物の作付けや、北部地域を周遊するスタンプリー

の企画・実施など、瀬戸屋敷をはじめ、北部地域全体の資源を活用し活性化させるための様々な取組みを進めてきました。

見えてきた課題

一方で、まだまだ地域全体を巻き込んだ取組みになつていないと言えません。地域に住む人々の想いは様々であり、一つの方向に向かつていくことの難しさも感じました。

一つひとつの取組みを重ね、ここに住む皆さんがどうすれば地域をもっと好きになれるか、暮らしやすい環境を整えることができるかを、引き続き皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

地域を次世代にどのように引き継いでいくかを町民の皆さんと一緒に考えてきました。

例えば、北部地域で採れた農産物やその加工品を、瀬戸屋敷を訪れた人が手に取り、買うことで、目に見える形で消費が生まれます。こうした交流が農業者のやりがいにつながり、次世代の担い手が地域農業に目を向けるきっかけとなるのではないかと。そのため、瀬戸屋敷を拠点とした北部地域の魅力向上によって訪れる人を増やす必要があります。

みんなが一体となつて

北部地域の魅力をさらに向上させるためには、地域住民、民間事業者、町それぞれが力や知恵を出し合い、一体となつて取り組んでいくことが必要です。

今月は、北部地域の魅力向上に向けて取り組む皆さんを紹介いたします。



つながる、ひろがる、ひるがる、瀬戸屋敷

新たなスタート

瀬戸屋敷は、平成29年4月から指定管理者制度を導入し、民間事業者（㈱オリエンタルコンサルタンツ）による管理運営が新たにスタートしました。この1年間、指定管理者による新しいアイデアや豊富なノウハウによって、瀬戸屋敷はさらに魅力的な姿へと進化し、来園者数は前年度比112%増の4万3,201人にのびりました。

地域と人を繋ぐ

瀬戸屋敷の新たな魅力のひとつ（Can't）「café hacco（カフェハッコ）」がオープンしました。

カフェでは、吉田島高校の生徒が考案した乳酸飲料「ヨシピス」や障がいを持つ方々が作ったクッキー、町内に店舗を置く製菓店の菓子など、町内で生産されたものが数多く販売されています。

また、カフェ内には地域

クリエイターらの作品の展示・販売スペースが設けられており、地域のものづくりのプロたちの顔が見えるようになっていきます。

瀬戸屋敷は、地域の味や手作りのぬくもりを届け、地域の生産者と瀬戸屋敷を訪れる人々を結びつける大きな役割を持っています。

新たな力が生まれる場所に

瀬戸屋敷を盛り上げる「せとわらし隊」として活躍している㈱オリエンタルコンサルタンツの関 詩織さんと森本健介さんは、瀬戸屋敷が目指す姿について次のように話します。

「私たちは、『思いを持った人が集い、活動することです人と人が繋がります。新たな力が生まれる場所』を目指しています。みなさんのやってみたいという思いを応援し、瀬戸屋敷から発信していきます。」



カフェで
ひといき♪



㈱オリエンタルコンサルタンツ
森本さん

◀白いあじさい「アナベル」をイメージしたソーダ

▼コーヒーを縁側で



▼「はっこう大作戦」で生まれたしょうゆ麹ペーストースト



café hacco（ハッコ）には、「開成町」がいっぱい！

瀬戸屋敷の看板犬、「せとちゃん」です！



▲町内事業所のおかし



▲ハーバリウムとは、ドライフラワーを瓶に入れ、特殊なオイルを注いだもの。色つきのオイルは瀬戸屋敷のオリジナル。

ハーバリウム体験教室

瀬戸屋敷やその近辺の花を使用して作ります。開成町のお土産や大切な人へのプレゼントにおすすめです!世界に一つだけのハーバリウムを作ってみませんか?

詳しくはこちら→
瀬戸屋敷HP





今後の整備予定図

力を発揮できる場所



瀬戸屋敷スタッフ
ハーバリウム講師
藤原 一彦さん (上延沢)

自分の力が誰かの喜びに

定年退職後、しばらくして、町民の皆さんに喜ばれる仕事がしたいと思い、瀬戸屋敷のスタッフになりました。

ある時、ハーバリウムを知る機会があり、これを瀬戸屋敷でも作りたいと手を挙げました。

当初は、ハーバリウム製作の知識に乏しく苦労しましたが、試行錯誤の結果、今ではオリジナリティのあ

る良い作品が生まれたと感じています。

現役の際は直接お客様と接する機会はありませんでしたが、現在はハーバリウムを通じてお客様と直接触れ合い、喜ぶ顔を間近で見られることにとてもやりがいを感じています。何より自分がこれまで培った技術や知識、経験など、様々な力を発揮することで誰かに喜んでもらえる場があることを嬉しく思っています。

ここにしかない魅力

私はこれまで北部地域を訪れたことがほとんどありませんでしたが、瀬戸屋敷のスタッフとして関わってみると、地域の方々と一緒にリエンタルコンサルタンツなど多くの皆さんが北部地域を盛り上げようと奮闘する姿に触発されています。

これからも北部地域にしかない多くの魅力を発信し、どの地域にも負けない素敵な地域を作っていけるよう、私自身その一翼を担っていきたいと思います。

地域とともに

進化する瀬戸屋敷

地域活動の活性化や農業振興に繋げるため、2020年度の稼働を目標に、駐車場の拡張や交流拠点の整備を行います。

駐車場は、大型バスも駐車できる規模の拡張を予定しており、あじさいまつりなどのイベント時の来園者の利便性向上を図ります。また、交流拠点整備として、案内・販売・加工の3つの機能を備えた施設の建設を予定し、瀬戸屋敷の交流拠点機能を強化します。



◀甘っこうじマフィン (5班)



◀せとみっちゃん (2班)
café haccoで今夏販売予定の
スイーツで使用予定!!

発酵のチカラで町を盛り上げる

昨年度、瀬戸屋敷を会場として、「発酵」をテーマとしたプロジェクト「はっこう大作戦」が実施されました。このプロジェクトでは、住民の心身両面からの健康づくりや地元農産物の魅力向上を目的に、地域・行政・学生・専門家の協働のもと、新たな発酵食品づくりを進めました。神奈川県「県西地域大学連携事業」として、東京農業大

学により企画・実施され、「はっこう大作戦」は、全5回にわたるプログラムとなっており、町内外から集まった57名の参加者が、発酵の知識を学びながら新しい発酵食品づくりに取り組みました。試作した食品は3月、「瀬戸屋敷ひなまつり」来場者に振る舞われ、今後、商品化を目指す、瀬戸屋敷等でのメニュー化が始まります。

大作戦!

はっこう大作戦を終えて



東京農業大学
教授 穂坂 賢さん

東京農業大学応用生物科学部醸造科学科教授。研究テーマは自然界からの有用酵母の分離と分離酵母による酒類醸造。

て頂き、「発酵」、「こうじ」、「甘酒」はもとより、多くの発酵食品に興味を持って頂いたとともに、地域の資源の活用や人々の繋がりがまで醸成できたことは、短期間ではありましたが、意義ある事業であったと思っています。

初回の座学では、受講された方々の「発酵」に対する理解がどの程度深まるか未知数でしたが、2回、3回と進むにつれ、また地域農産物・発酵食品を活かすものづくりワークショップから「瀬戸屋敷のひなまつり」での試作品づくりが進むにつれ、当初の目的以上のものが醸成されたと感じ、事業を行って良かったと感じています。

「はっこう大作戦」は、瀬戸屋敷の活用と瀬戸酒造の再生を視野に入れ、さらに開成町を中心とした地域活性化を「発酵」を通じてできたらという思いで実施しました。近年「発酵」に関心が集まる中、我々日本人になじみの深い「こうじ」と「甘酒」をキーワードに、発酵食品の持つ健康効果とワークショップ活動によってやりがいや醸成し、心身両面からの「未病」改善を目的として、平成29年9月から平成30年3月までの約半年間実施してきました。この間多くの方々に受講し

しかし、この事業は、私ども東京農業大学だけで出来得た事業ではありません。多くの方々協力によって出来得た事業だと思っています。地域の様々な人々、団体、施設を有効に活用するきっかけとなったのではと思っています。これからのさらなる発展が楽しみです。

参加者の声



◀85 (ハチゴ) カレー (6班)

学んだことを 発表する経験に

神奈川県立吉田島高校 2年
井上 葉吾さん (湯河原町)



発酵は、2年次以降に学習する内容なので、学校の勉強の先取りになりました。自分たちで研究した内容をまとめ、発表する良い機会になりました。地域の皆さんと協力して様々な発酵メニューを考えることが出来ました。

私の地元では、最近お菓子の工場ができ、そこでお菓子の商品開発に携わることが夢です。

知らないことを 知る楽しさ

神奈川県立吉田島高校 2年
竹迫 悠恭さん (秦野市)



知らないことを学ぶことは、大変でもありましたが、とても楽しかったです。

私の将来の夢は、和菓子職人で、京都旅行に行った時に和菓子づくり体験をしたことで興味を持ちました。自分で何かを作る職業に就きたいと思っています。

はっこう大作戦は、自分で考え、何かを作る良い機会になりました。



甘酒ドレッシング (4班) ▶

はっこう

色んな世代の人が集まり、一つの目標に向い、
何かが生まれる楽しさを実感しました！

試食会の日は朝から不安とワクワクで胸がいっぱいでしたが、お客さんの「美味しい！」の声にうれしかったです。



3班のみなさん

メンバーに恵まれ、
楽しい半年間でした！

穂坂教授の
お話がとても楽しく、
学ぶ意欲がわきました！

延長戦決定！

瀬戸酒造の酒粕を使って、メニューを考える「はっこう大作戦」の延長戦が決定！
詳しくは、おしらせ版5/15号で！

▼開成里のいももち (1班)



◀あじしおちゃん (3班)

「酒田錦」再生

瀬戸酒造店のある一帯は、かつて酒田村と呼ばれていたように、酒米の栽培が盛んな地域でした。そんな開成町産の酒米と、酒蔵に根付いていた酵母を使い、瀬戸酒造店を代表する幕末からの伝統の銘柄が復活しました。

開成町の皆さんと
地域を盛り上げたい

昨年度から瀬戸屋敷の管理・運営を任せていただいている弊社(株)オリエンタルコンサルタンツは、地域活性化事業のコンサルティングを手掛ける会社です。これまで全国各地で、地域の「やる気スィッチ」を探すお手伝いをしてきましたが、さらに一歩進んで「自らスィッチを押しにくい」ため、主体的に活動するフィールドを探していました。

そんな中、都市圏からのアクセスに恵まれ、豊かな自然も残されている開成町の北部地域に注目しました。中でも決め手になったのは、「瀬戸屋敷倶楽部」や「郷の市」をはじめ、町民の皆さんが地域のために様々な活動をされていることでした。この町の皆さんと一緒に地域を盛り上げたい!と思い、開成町を選びました。

酒蔵再生を通じて

地域に潤いを



瀬戸屋敷の管理とあわせ、現在、酒蔵の再生事業に取り組んでいます。瀬戸屋敷の近くにある瀬戸酒造店を買い取り、38年ぶりに自家醸造を始めました。この新しい酒蔵で造った開成町産のお酒「酒田錦」を、地域の新たな名産として育てたいと考えています。

私たちは、酒蔵再生事業を通じて、地域が潤うことを目標にしています。「お酒を造って売る」ということにとどまらず、おいしい水やお米があるという町の魅力を多くの人に伝え、この地域に住みたい・訪れたいという人を増やし、地域の潤いに繋げていきたいと考えています。

酒蔵の再生から地域づくりへ



あしがり郷



セトイチ

▶酒田錦の他にも2種類が販売される予定



「杜氏の想い」公開中▶

瀬戸酒造店 代表取締役社長
森 隆信さん

「あじさい酵母」「蔵付き酵母」の分離と選択
東京農業大学教授 穂坂賢さん

お酒造りに用いられている酵母は、日本醸造協会から頒布されている協会酵母をはじめ、各県を中心に開発されている県酵母などが中心となっています。

しかし、酒造会社では自社の製品の特徴付けを目的に、オリジナル酵母として「蔵付き酵母」を活用し、独特のお酒造りに利用しています。また、近年は地域の特性を活かすことを目的(テロワールの意味合いより)に、地域の花(市町村の花)から分離した酵母を活用したお酒造りも行われています。

瀬戸酒造店の再生に伴い、これからのあり方を考えた時、自社独自の酵母や地域を意識した酵母によるお酒造りが必要ではないかと考えていました。瀬戸酒造店の皆さんと意見交換を重ね、その結果、開成町「あじさいの花」。「あじさい酵母によるお酒造り」、それと同時に、再生

伝統の

試行錯誤の栽培

開成町産の酒米で醸造した日本酒が復活したことはとても嬉しいですね。

もともと開成町の北部地域は、5軒ほどの酒蔵がありました。気候が酒米づくりに適していること、冬でも水が豊かで水車を回すことができ、精米作業ができることが、酒造りに適しているのだと思います。

今回は、酒米「吟のさと」を作りました。背が低いため、倒れにくく育てやすいお米でした。肥料の量や収穫時期などが飯米と違うため、試行錯誤しながら育てました。飯米との収穫時期の違いから、田んぼに水を入れている期間が周囲の田んぼと

違ってくるといふ課題も見えてきました。水路は地域のもので、自分の田んぼが良ければ良いというものではありません。今後は、酒米の田植え時期を早める、酒米の田んぼのエリアを分けるなど、地域と相談しながら取り組んでいく必要があると思います。

より付加価値の高い酒米を

一方で、飯米と収穫時期が違うため、機械などを使う時期や作業がずれることで、飯米と酒米の両立が可能だと感じました。地域では、酒米の作付に取り組みたいという方も出て

付加価値の高い酒米を



瀬戸 浩雅さん
(金井島)

きています。

今後、「山田錦」などといったより付加価値の高い酒米の作付に取り組みたいと思います。

「瀬戸酒造店をもう一度甦らせること」＝「蔵付き酵母によるお酒造り」となりました。酵母を分離することはそう難しくありませんが、良い酵母かそうでない酵母かを選ぶのは簡単なことではなく、さらに良い酵母の中からお酒造りに適した酵母を選び出すのはかなりの時間と手間を要します。今回、運よく分離できた「あじさい酵母」と瀬戸酒造店の「蔵付き酵母」については、想像以上に良いお酒を造ることができる酵母だと思っています。

※テロワール
耕作に適した土地。特にワイン用のブドウにいう。転じて、ワインに固有の個性を与える土壌・地勢・気候などの自然環境上の特徴。



デザインが生まれかわった酒田錦



学生の力を活かした リノベーション

芝浦工業大学
建築学生による地域活性化団体
空き家改修プロジェクト

開成町設計室
室長 田中 陸美さん(修士2年)



①



②

①一番右が田中さん
②店内の壁に和紙を貼る作業

みんなのチカラ

学生の発想で

空き家を地域資源に

この取組みは、瀬戸屋敷スタッフの森本健介さん(みなみ)が大学院在学中に創設したプロジェクトで、全国で課題になっている空き家の、建築を学ぶ学生が地域と連携しながら新たな地域資源に再生するものです。今回、瀬戸酒造店の店舗の改修を手掛けました。

「設計や実測を2017年4月から始め、12月に完成しまし

た。月に1回程度、町に来て作業

し、夏休みには1週間、町に泊まり込んで集中的に作業しました。」

と話すのは、開成町設計室長の田中さん。

「一番大変だったのは、予算でした。いかに最小限の予算で、学生ならではの発想や工夫で改修するか、何度もオリエンタルコンサルタツの皆さんと検討しました。」

茅の葺き屋根を後世へ

古民家ガーデン 紋蔵

日本家屋の伝統様式の一つ、茅葺き屋根。開成町北部地域には、4軒の茅葺き屋根の家が現存しています。その一つである「古民家ガーデン 紋蔵」の屋根の一部補修が実施されました。たくさんの人に作業を見てほしいと、4月14日(土)と15日(日)には公開イベントが開催され、県内から約100人が訪れました。

紋蔵を利用する有志が、静岡県朝霧高原の茅場で茅を刈り取り、山梨県から職人を招き、町内在住の茅葺き職人見習いの秋澤さんも作業に参加しました。伝統の茅葺き屋根を後世に伝える活動が始まっています。

今回は、屋根の1/4を補修した





プロジェクト kaisei

挑戦者たち Challenger

「瀬戸屋敷の歴史」

男は言った。
「親しみやすくふるさと感じられる交流拠点を作りたい。」
男の名は瀬戸公雄さん(岡野)。当時、農政を担当していた町職員だった。これは古民家を人々の集いの場とするために奔走した人たちの熱きドラマである。

発想の原点

平成10年、今から20年前、県のふるさと「あしがり郷」整備計画に基づき、その拠点施設が北部農村地域にある18世紀初頭に建造された茅葺き屋根の古民家瀬戸家となった。改修の原点は、約1800坪の敷地と建物一式全て、瀬戸家からの寄附だった。「みんなに使うってもらう本物の文化財として後世に伝えていこう」と、当時の町経済課(現産業振興課)内にプロジェクトチームが立ち上がり、瀬戸さんを含め3人でのスタートだった。

町民参加の文化財づくり

建物の改修と並行してワークショップを企画し、町民参加を募り4年の年月を掛け、瀬戸屋敷の運営活用方法を検討した。

小学生の体験学習として土蔵壁の土こねや茅束の手入れなども行った。建設現場が学習の場になった。土蔵内部の壁板の下地に多数の町民が未来に向けたメッセージを書いた。土蔵全体がタイムカプセルになっているのだ。皆の想いが一つひとつ

つ形になっていった。

待ちに待った完成

平成17年5月27日、町制施行50周年の節目の年に瀬戸屋敷オープン式典が行われた。現代に蘇った古民家の前には、オープン前から住民の力で瀬戸屋敷を応援しようと立ち上がった瀬戸屋敷倶楽部の皆さんの姿があった。

そして、今

「楽しかったなあ。何しろ初めてのことばかりで。長野県や秋田県などに古民家を活用している事例を勉強に行き、囲炉裏で地元の人が昔話をしながら栗を焼いている姿を見て参考にしました。改修の完了まで1年を切った頃土蔵前のケヤキの木が台風で倒れて屋根の一部が破損するトラブルにもありました。あの時は慌てたな。」瀬戸さんは目を細めながら語った。

瀬戸屋敷がこの町の原点のひとつであり、ここからまた新しいものが生まれていく。これからもきつと笑顔が絶えない場所であり続けるだろう。

取材後記

瀬戸屋敷に併設されたカフェでこの記事を書いていると現在に至る過程に携わった人々の想いを切々と感じる。人の出会いの場、季節を感じられる場所として今日も大勢の人が訪れていた。瀬戸さんをはじめ多くの方が20年前から一つひとつ描いた風景が現実になったのだ。

子どもの遊ぶ声が広い空に響き渡った。木々の新緑が目まぶしかった。

まちづくり情報特派員 石塚 敦



メッセージが書かれた土蔵内部の壁板の下地



ひとと自然が調和した「みらい」への空間 『田舎モダンを象徴する庁舎』

実施設計が完成しました

これまでの意匠・構造・設備等に、さらに詳細な検討を加え、「開成町新庁舎建設実施設計」を取りまとめました。

町のシンボルに

開成町らしい「田舎モダンを象徴する庁舎」に向けて、自然環境を効率よく活用し、極めて高度に洗練された技術を備えた建築設計です。自然光や通風を取り入れるだけではなく、さらに高度な省エネ技術等を連携させることで、日本一の「低炭素型庁舎」として、世界に誇れる庁舎になります。

新庁舎が町のシンボルとなり、人と人とのつながりを一層深める場となるよう進めていきます。

さらに詳しく！
町ホームページに
実施設計(概要版)を
掲載中



設計コンセプト

北部地域、南部地域の交流の拠点となり、周辺地域を含めた地域連携の中核拠点をなす人と人とのつながりを深める庁舎をつくります。

安心・安全

- ・免震構造
- ・災害復旧拠点施設
- ・セキュリティに配慮した執務室

住民サービスの充実

- ・ワンストップサービスに対応した窓口カウンター計画
- ・バリアフリー環境

地球環境に優しい

- ・低炭素型（ZEB）庁舎
- ・地下水熱を利用した省エネ空調システムの採用

親しみやすさ

- ・来庁者の誰もがわかりやすいサイン計画の採用（ユニバーサルデザイン）
- ・町民プラザに木質素材を採用



▲1階町民プラザイメージ

年度	H30年度												H31年度											
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
全体工程	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	

▲スケジュール(予定)

命を守る大切ながん検診

問 保険健康課 ☎84-0327

がんは、早期発見すれば90%以上が治ります

最寄りの医療機関でも

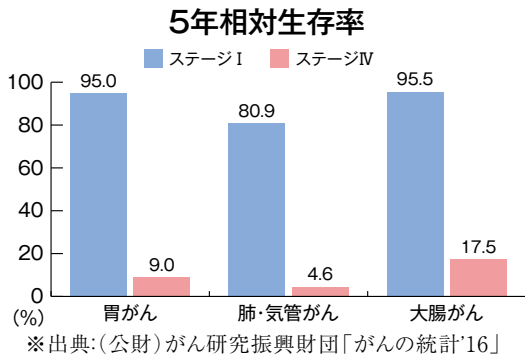
決まった時期に実施する

『がん』は今や2人に1人がかかり、3人に1人が『がん』で亡くなる時代です。

しかし、医療の進歩により、一部の『がん』では早期発見の割合が高まってきました。

『がん』は早期発見・治療ができれば完治の可能性が高くなります。

『早期のがん』では症状が出ないことが多いので、早期発見のためには定期的ながん検診の受診が大切です。



忙しい人にも！同時検診

保健センター受診では、

部位別がん死亡数のトップ3の胃・肺・大腸がん検診を同時に受けることができます。

知っていますか？

胃がんリスク検診

胃がんリスク検診は、「がんを見つucker検査」ではありませんが、「ヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無を調べる検査」と「胃炎の有無を調べる検査」を組み合わせて、胃がんになりやすいか否かをリスク(危険度)分類するものです。また、検査方法も問診と血液検査のみなので気軽に検査できます。

今年度、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳になられる方は、胃がん検診もしくは胃がんリスク検診を選ぶことができます。受診希望の際は必ず予約が必要ですよ。

まずは検診を！

健康で過ごすことは、自分のためだけではなく、家族のためでもあります。定期的な検診を受けて、自分の健康を自分で守りましょう。

検診には申込み・予約が必要ですよ。日程など詳しくはおしらせ版をご覧ください。

65歳以上の方へ 平成30年度から

介護保険料が変わります

問 保険健康課 ☎84-0320

介護保険料は、3年ごとに見直される介護保険事業計画の中で、今後必要となる介護サービス費用を推計して算定します。今回の計画の見直しで改定された保険料についてお知らせします。

介護保険料の見直し

65歳以上の方が納める介護保険料は、市区町村が3年ごとに作成する介護保険事業計画で定めることになっています。

その要因として、要介護認定者の増加に伴う居宅サービスや地域密着型サービス、施設サービスの利用増加による給付費の伸びが挙げられます。こうしたことから、第7期に必要な保険料を試算し、基準額を月額5,150円から5,360円に改定しました。

保険料額のお知らせ

今年度の各個人それぞれの介護保険料額は、6月中旬にお送りする納入通知書で確認してください。

今回策定した計画は第7期となり、平成30(2018)～32(2020)年度の高齢者数や要介護認定者数の推計を行うとともに、3年間で必要となる介護サービスの利用見込みから、かかる費用を推計し、新たな介護保険料を算定しました。

第7期の介護保険料

町全体で介護サービスにかかる費用は、第6期計画期間

今度、計画の概要が全戸配布されるよ。見てね！





地域防災リーダーの証であるベストを着たリーダーたち

3/26
(月)

地域防災リーダーが誕生！

問 環境防災課 ☎84-0314

開成町地域防災リーダー認定証交付式で、町長から認定証が交付され、**26名の地域防災リーダーが誕生**しました。

今後、地域防災リーダーたちは、地域の防災訓練における指導や災害が発生した場合には、地域防災組織と連携した災害対策活動を実施していきます。

3/28
(水)

おやこCaféを開催

問 企画政策課 ☎84-0312

子育て中のパパ・ママが一息つけ、他のパパ・ママとの繋がりを持てる場を作りたいという思いから、「**おやこCafé**」をパレットガーデン自治会館で開催しました。

当日は親子で楽しめるイベントやワークショップ、販売コーナーがあり、会場は多くの親子で賑わいました。



みんなで「かいせいマーチ」を踊りました

3/28
(水)

災害時の重症心身障がい児者支援を強化

問 福祉課 ☎84-0316

災害時の重症心身障がい児者の避難施設を確保するため、重症心身障がい児者支援施設を運営する**社会福祉法人風祭の森**（小田原市風祭）と福祉避難所協定を締結しました。今回の協定により福祉避難所は**5か所目**となりました。



府川町長と社会福祉法人風祭の森 長根理事長

「広報かいせい」が全国広報コンクール入選！

問 企画政策課 ☎84-0312

平成29年神奈川県広報コンクールで最優秀賞を受賞した「広報かいせい11月1日号」が平成30年全国広報コンクールの広報紙町村部で**入選3席(全国4位)**を受賞しました。

今後もさらに開成町の魅力を全国に発信していきます！

「広報かいせい11月号1日号」はこちら→



町の写真を投稿中！開成町公式instagram→



4/1
(日)

せとわらしまつりを開催

問 瀬戸屋敷 ☎84-0050

あしがり郷瀬戸屋敷で「せとわらしまつり」を開催しました。

ヨーヨー釣り等の縁日や様々な販売、町内クリエイターによるワークショップ、町内団体によるステージ発表があり、瀬戸屋敷内には来園者たちの笑顔があふれていました。



行列ができた縁日ゾーン

4/5・
4/10

入園・入学おめでとうございます

問 教育総務課 ☎82-5221



ご入学おめでとうございます！(開成小学校)

町内の園・各学校で入園式・入学式が行われました。今年、入園・入学した園児・児童・生徒は、開成幼稚園103名、開成小学校87名、開成南小学校96名、文命中学校178名です。

子どもたちは、やや緊張した面持ちで式に臨み、新生活への期待と不安に胸を膨らませている様子でした。

4/15
(日)

第34回開成町消防大会を開催！！

問 環境防災課 ☎84-0314

開成小学校において第34回開成町消防大会が開催されました。小田原市消防本部足柄消防署員を指導員に迎え、敬礼等の基礎訓練が実施されました。

また、昨年に消防庁の補助金を活用し作成した「消防・防災施設マップ」を町から自治会及び消防団へ贈呈・伝達しました。



消防・防災施設マップの贈呈・伝達



開成ミニバスケットボール

クラブ男子が優勝！

問 自治活動応援課 ☎84-0315

3月10日(土)に大井町総合体育館で開催された第25回リバーサイドカップで開成ミニバスケットボールクラブ男子が優勝しました！

メンバーを随時募集していますので、ご連絡ください。
保護者副会長 高橋 ☎080-6537-3823





子育てカレンダー 5月



このカレンダーは、就学前のお子さんに関する予定を掲載しています。

④ 申込みが必要です

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3 ☞瀬戸屋敷端午の節句(～5/5) (瀬戸屋敷) ④	4	5	6
7	8	9	10 ♪おでかけ保育 (みなみの保育園)	11	12 ☞おはなし会 (町民センター図書室) ◇ばば☆ひろば (あじさいっこ)	13
14 ◇相談タイム (あじさいっこ)	15 ☆母乳相談④ (保健センター)	16 ☆3歳児健診 (保健センター) ☞おはなし会 (町民センター図書室) ♡チビっ子らんど おはなし会 (福祉会館)	17 ☆3～4か月児健診 (保健センター) ♪おでかけ保育 (福祉会館)	18	19 ☞子どもの広場④ (町民センター図書室)	20
21	22 ☆7～8か月児健康相談 (保健センター)	23	24 ☆離乳食教室 (保健センター) ♪ふれあいクッキング (木育ランド)	25	26	27
28 ◇人形劇 (あじさいっこ)	29	30	31 ♡♪ちびっこサロン (福祉会館)	6/1	6/2	6/3

問合せ
申込み

- ☆ 保険健康課
- ♪ 子育て支援センター(酒田子育て支援室)
- ◇ 駅前子育て支援センターあじさいっこ
- ☞ 子ども・子育て支援室

- 84-0327
- 82-1222
- 20-9720
- 84-0328

- ♡ 社会福祉協議会
- ☺ 教育委員会事務局教育総務課
- ☞ 町民センター図書室
- ☞ 瀬戸屋敷

- 82-5222
- 82-5221
- 82-5221
- 84-0050



働く妊婦さんのために：
近年は、働きながら妊娠・出産を迎える「勤労妊婦」が増えています。
妊婦さんと赤ちゃんが健やかに過ごせるために、周囲の協力や配慮が大切です。法律でも、母体保護が定められて



妊娠がわかったら：
母子健康手帳は、妊娠期からお子さんが6歳になるまでの健康の記録や予防接種の記録をするものです。医師の診断を受けたらすみやかに受け取り、大切に扱います。
町では、妊娠の届出の際に母子健康包括支援センター「ひだまり」で、保健師が妊婦さんと面接をしながらお渡ししています。
妊娠・出産・子育てで心配なことがありますら、ご相談ください。

子育てナビ

問 保険健康課 ☎84-0327

電子手帳アプリ配信中
町では神奈川県が実施している「母子手帳アプリ 母子mO」に参加しています。成長記録や写真が入力でき、家族で共有することもできます。ぜひご利用ください。



妊娠届出時にマタニティマークを配布しています。ご希望の方は保険健康課窓口まで★

▲マタニティマーク

います。妊娠がわかったら、早めに勤務先へ報告しましょう。
もしも、体調が悪かったら：
勤労妊婦さんで、体調が悪く、医師の判断で休養が必要な場合は事業主宛に「母性健康管理指導事項連絡カード」を書いてもらうことができます。母子健康手帳にも記載がありますので、参照してください。出産まで健やかに迎えられるのが一番ですが、「もしも」のときに、利用できるツールがあることを知っておくと安心ですね。
また、定期的に妊婦健診を受けて健康管理に努めましょう。



食育コラム (13)

問 保険健康課
☎84-0327

今月のレシピは、5月5日の子ども日に食べる

かしわ餅です!

かしわ餅の「かしわの葉」は、新葉が出ないと古い葉が落ちず、それに見立てて、子どもが生まれ世代交代をしていく意味があります。また、「かしわ」は2つに折るという意味があり、昔は、大人用の布団などを2つに折り、子どもをその上に寝かせていたといわれています。どちらも子どもが生まれたことへの喜び、また成長を願う意味があります。



簡単レンジでかしわ餅

★材料 3個分★

- ・上新粉 90g ・水 120ml
- ・あんこ 120g ・かしわの葉 3枚

★作り方★

- ① あんこを3個にわけ、丸めておく。
- ② 耐熱性の容器に上新粉と水を混ぜ合わせラップし、電子レンジ500Wで1分半加熱してから木べらなどで混ぜ、さらに1分間加熱する
- ③ ②をクッキングシートの上にあけ、水で濡らした木べらなどで、よくねる。
- ④ ③を容器に戻し、冷水を加えて15分程おき、水を捨てて再びねる。
- ⑤ ④を3等分にわけ、楕円形に伸ばしあんこをのせて包む。
最後にかしわの葉で包めばできあがり!!

みんな集まれ! /



町民センター図書室

◇子どもの広場

内容 「くるくるレインボー」を作ります。
日時 5月19日(土) 10:00~
持ち物 はさみ
対象 5歳~ (未就学児は保護者同伴)
場所 町民センター2階 小会議室A
申込み 直接図書室へ 又は、☎ 82-5221



◇おはなし会 (第2土曜日、第3水曜日)

日時 5月12日(土) 13:00~
5月16日(水) 15:00~
場所 町民センター3階 図書室
申し込みはいりません。

◇乳幼児専門電話相談◇

子どもの発達に不安を感じている保護者及び支援者の相談をお受けします。

日時 5月8日(火)、18日(金)、25日(金)、29日(火)
10時から13時まで
対象 乳幼児期の子どもの持つ保護者
乳幼児支援に携わる支援者
費用 無料 (電話代は相談者負担)
対応職員 発達支援研究所Mama代表
加藤敦子さん (保健師、臨床心理士)
専門電話 ☎0465-81-3737
問 神奈川県発達障害支援センター 地域支援課
☎0465-81-0288



心洗組に参加した生徒たち



生徒が作成した星型カード

元気だより

問 文命中学校 ☎82-1386

本当の優しさが
分かってきた活動

開成町立文命中学校 教諭

小笠原 美里

文命中学校では、「NYG 日本一優しい学校」の合言葉を掲げ、「NYGプロジェクト」と名付けた活動を数多く行っています。

昨年度は、主に「優しさがある」とどんなことが起きるか」を考え、昇降口に星形のカードにして飾る活動や、「心洗組」という清掃活動を行っています。全校生徒が各活動に自主的に参加し、心洗組には、年間を通して延べ800名の生徒が参加しました。先日、生徒総会では「本当の優しさとは何か」と白熱した討論も行われました。当初から、前向きに活動できていたわけではありませんが、最近では、よりよい方法が提案されたり、学年を越えて声をかけあったりなど、交流の場にもなっています。

学校の雰囲気がいよいよあなたになれる活動が今年度も進めたいと話しています。

「元気だより」では、町の子どもの様子を学校・保育園の現場からお届けします。



—トルク工業株式会社—

企画政策課 ☎84-0312

創業から続くプレス加工

トルク工業株式会社は、昭和42年に松田町で創業し、昭和45年に開成町金井島に工場を増設しました。平成16年に静岡県小山町に本社機能移転し、主な製造業務は小山事業所で行われ、開成事業所は第2製造部として稼働しています。

金型技術者だった創業者が独立し、当時、ドイツ製だったプロッチの留め金部分を日本で製造したのが事業の始まりだったそうです。創業から一貫して「プレス加工（金型に金属材料を挟み、強い圧力を加えることで素材を金型の形に成形す

ること）」を手掛け、現在は、金属やプラスチックで主に自動車部品や電子機器部品の製造を行っています。

開成町発祥キャスター付き
スーツケースの開発に携わる

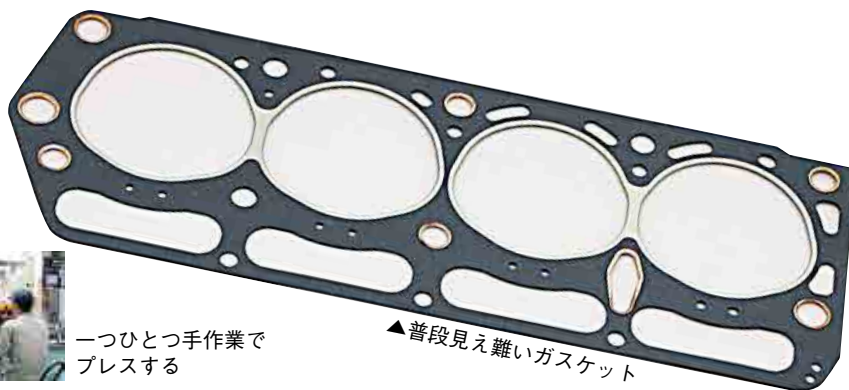
広報かいせい7月号で紹介した「エース物流(株)」は、かつて製造工場としての機能を有し、現在では当たり前のキャスター付きスーツケースを世界で初めて開発し販売しました。開成町で誕生したこのスーツケースのキャスター部分は、トルク工業(株)が開発に携わったそう、脱着式や折り畳み式など様々な試行錯誤を経て、現在の形になりました。

現在も、エース(株)のスーツケースに取り付けられるキャスターは、両社の合弁会社が製造しています。

高い品質管理水準

トルク工業(株)で製造される主な自動車部品として「ガスケット」があります。これは、自動車のエンジンなどにつながる様々なパ

イプとパイプ、金属と金属のつなぎ目に隙間ができないようにパッキンの役目を果たします。



▲普段見え難いガスケット

一つひとつ手作業でプレスする

「ガスケットは、部品と部品の間を挟まれ、見え難いものですが、接続部分か

らガソリンやオイル、空気などが漏れると、車両火災やブレーキの故障など人命に関わる重大な故障につながる。高い水準の品質が求められます。」と、代表取締役社長の高橋 伸さんは言います。

トルク工業(株)のガスケットは、どの自動車メーカーにも使用されています。創業から続くプレス加工技術が自動車には欠かせない部品を生み出しています。

町の小学生が自動車の製造について学ぶということ、学校の先生が熱心に取材して行かれたこともあったそう。

「町の子どもたちに知ってもらいたい機会になりました。」と高橋社長は言います。

会社のご近所づきあい

企業としての町や近隣企業との連携は、「会社のご近所づきあい」という高橋社長。町の子どもたちの教育への協力や災害時の地域避難所指定など町の一員として協力していただいています。



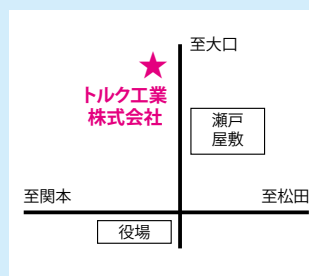
左から、高橋 伸代表取締役社長、府川町長

今回訪れたのは…

創業以来続くプレス加工製品をはじめとした一貫したモノづくりの会社

トルク工業株式会社開成事業所

開成町金井島130番地 1



このコーナーでは、町工場会に加盟している企業を町長が訪問し、紹介します。



3月16日から4月15日に届出のあった方で希望された方のみ掲載しています。(敬称略)

氏名	性別	保護者	地区
細川 由佳梨	女	教之こず恵	宮台
佐藤 暖真	男	幸太美奈恵	中家村
井上 咲希	女	裕司かおり	牛島
萩原 颯介	男	裕介千恵子	河原町
井川 湊登	男	博登沙希	下島

スポーツの結果

第58回町内サッカー大会

優勝 郵便局
準優勝 ベレッセ
3位 スピリタス

文芸

開成俳句会

俳句

四月吟

ともしび短歌会

短歌

三月詠

猫柳休鼠の雨となり
雨太し眠り覚めたる耕耘機
草薙やべピーに買ひし赤き靴
正直に生きて八十路や春惜しむ
下蔭や飛行機雲の一筋に
春雷の眠れぬ夜や終電車
錆び鉄の立て掛けてあり花辛夷
猫柳詩集ふわりと捲れけり
妻と佇つ雲の切れ間の臘月
川べりに昔探すや猫柳
春光の無音差しある座禅堂

波多野すみ枝
濱本 主雄
瀬戸 悦子
下澤 操子
奥津らわき
遠藤美津子
遠藤マツエ
有賀 孝子
足立ふみえ

梅一枚机上にかざり道真や
源太景季しのぶもたのし
梅の觀賞法として、歴史上よく知られている人物にスポットを当て思いを馳せるのも一興と、作者が体験を通じ紹介している短歌。
※源太景季は鎌倉時代の源氏の武将梶原源太。生田の森の合戦で腕に梅の花を挿し戦った。

石井はま江
近藤 正臣 選

今日だけ温き陽射し込む日曜日
確定申告完成したり
府川ハツエ
確定申告の時期は気忙しいが、上の句のような状況下で申告書を書き上げたという。実景のみならず安堵した気持ちを含めて詠んだ歌。

音も無き風を伴ひ降る雪に
落つる椿は紅のまま
諸星 末子
深々とした様の上の句。その静寂を破り落下した椿の様を捉えた下の句。聴覚と触覚、色彩感覚等を駆使した見事な作品と言える。

広告

キエフ・バレエ タラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエ
華麗なるクラシックバレエ・ハイライト
8月2日(木) 開演18:30
南足柄市文化会館 大ホール
名作バレエの
名場面公演!
4歳から
ご入場
いただけます
【プレイガイド】
●南足柄市文化会館1階事務室 ●泰野市文化会館 ●ハルネ小田原街かど案内所 ●ダイナシティウエスト1階チケットぴあ ●ミクニ書店 ●光監社チケットセンター他
主催:光監社/南足柄市文化会館 指定管理者アクティバ株式会社 問 0465-73-5111

表彰

旭日単光章受章 故・神座 盛夫さん(上延沢)

2月2日にご逝去された元町議会議員神座盛夫さんが、多年にわたる功績により、旭日単光章を受章されました。
神座さんは昭和54年5月に開成町議会議員初当選から、平成7年4月まで4期16年にわたり、町議会議員として、開成町の発展に尽力をされました。

！ おしらせ

教育委員に本澤尚之さんが就任



教育委員の武井正広さんが3月31日付けで退任され、4月24日付けで新委員に本澤尚之さん(下島)が任命されました。

小澤均副町長が退任

平成19年3月23日の就任以来11年間にわたり副町長を務められた小澤均さんが、3月31日付けで退任されました。

職員時代から通算すると39年6か月間、町を支えてこられました。

副町長に加藤一男さんが就任



議会4月臨時会議において選任同意され、加藤一男さん(河原町)が、4月24日付けで副町長に就任しました。

加藤さんは、元南足柄市職員として企画部長などを歴任されています。

今月の1冊

ソバニールヨ



喜多川 泰

顔はサッカーボール、手足は塩化ビニル製の排水管でできた不格好な物体。それが、夏休み直前

の中学生・単人の前に現れたロボット・ユージだった。

ユージの目的は単人に「アイを伝える」こと。優れた人工知能が搭載されたユージは、単人にたくさんの気づきを与え、変化をもたらす。クラスで浮かないように普通であろうと努めてきた単人にとってユージがかけがえのない存在になるまでを描いた本書は機械と人との友情を提示した。

広告

J:COMチャンネル小田原

アプリで
地元のニュースや
イベントが見られます!!



便利な「ど・ろーかる」
アプリはこちらから

※視聴には通信環境(Wi-Fi・LTEなど)が必要です。

詳しくはお問い合わせください。

0120-914-000 AM9:00~PM6:00【年中無休】

※発信番号等が非通知に設定されている場合は、0120の頭に188をつけてお電話ください。

※2017年3月末現在(一部除く)。J:COMチャンネルは、J:COM対応済みの建物にお住まいの方などからでも観覧いただけるチャンネルです。テレビのチャンネル設定(再スキャン)が必要な場合があります。※会社名・製品名・サービス名は、各社の登録商標または商標です。一部申請中のものを除きます。



今月の表紙



今月の表紙は、「古民家ガーデン紋蔵」の屋根の茅を葺き替えていた、茅葺き職人見習いの秋澤 湖さん(岡野)と、親方の杉壽靖司さん(山梨県河口湖町)、手伝いの石井 佑幸さん(松田町)

日本の伝統的家屋の茅葺き屋根ですが、茅葺きの習慣がなくなってきたこと、茅場や職人が少なくなったことで、葺き替えが難しくなっています。

現在、秋澤さんは親方から茅葺きを学び、技術の伝承に努めています。

今月の一枚



空を泳ぐこいのぼり(瀬戸屋敷)

統計かいせい



人口と世帯

4月1日現在()内は前月比

- ◆人口 17,596人 (20)
- ◆世帯数 6,554世帯 (19)
- 男 8,556人 (-7)
- ◆出生 9人
- 女 9,040人 (27)
- ◆死亡 19人

※平成27年国勢調査からの推計値。



安全データ

3月分()内は1月からの累計

- ◆交通事故件 2件(9)
- ◆火災発生件数 0件(0)
- 死亡 0人(0)
- ◆救急出動回数 60件(189)
- 重傷 0人(0)
- 軽傷 2人(11)



降水量

3月分()内は昨年同月分

- ◆降水量 302.5mm(101.5mm)
- ◆雨 12日(9日)



もえるごみデータ

3月分収集量 約239t(約236t)
()内は昨年3月分

収集運搬費 約253万円(4月からの累計約3,126万円)

※収集量は昨年同月比約1%の増となり、収集運搬費は約3万円(今年度収集単価換算)の増となりました。
ごみの分別にご協力をお願いします。



納期

※毎月納付以外のものを記載しています。

5月31日(休)

- ・固定資産税(1期)
- ・上・下水道使用料(1期)
- ・軽自動車税(全期)



漏水当番

道路などで漏水を発見したら、役場または下の指定業者に連絡してください。

当番期間	漏水当番水道業者	
4/25~5/1	株神成工業	☎83-3387
5/2~5/8	株キタムラ	☎82-0721
5/9~5/15	有草柳設備	☎82-6323
5/16~5/22	有矢口水道工業	☎82-2656
5/23~5/29	有コーユー	☎85-3108
5/30~6/5	有鈴木設備	☎83-7900

編集後記

今月は、北部地域を特集しました。取材の中で、素晴らしい活動をしている方にたくさん出会い、ページがいくつあっても足りないと思いました。(W)

広告

開成駅西口 徒歩2分のカフェ

TEA HOUSE 7th May

(ティーハウス セブンスメイ)

☎43-9147 7thmay.com

紅茶、珈琲
生パスタ、カレー

OPEN 9:00~20:00
(L.O. 19:30)
CLOSE 毎週火曜日

今月の広報かいせい

- 2 特集 残したい風景
- 11 まちづくり情報特派員特集
- 12 新庁舎実施設計
- 13 まちからのお知らせ
- 14 まちかどトピックス
- 16 子育てコーナー
- 18 開成町ひと・まち・しごと
- 19 インフォメーション